

くずまき山村留学オープンスクール 山村留学への理解を深める



寄宿舎に関する質問に答える山村留学学生

8月22日と23日の2日間、くずまき山村留学・葛巻高校オープンスクールが行われ、町外中学生8人とその家族が参加しました。参加者は、授業や部活動、町内施設を見学。また、寄宿舎での生活や学校への登下校を体験したり、寮の先輩たちと交流するなど、町や葛巻高校、山村留学制度に対する理解を深めました。

参加した中学生は「寮が新しく良い環境であることは調べていたが、実際に先輩と関わってみて、人との関わりも魅力だと感じた」と話し、収穫のあるオープンスクールになった様子でした。

脱炭素・未来ワークショップ 葛巻町の未来を考える

脱炭素・未来ワークショップは9月10日、同校体育館で行われ、1年生30人が参加しました。講師は岩手県立大学名誉教授の渋谷晃太郎さんが務め、生徒たちは町の将来を見据えた環境問題や人口減少などの課題の洗い出しや解決のための政策を考えました。8月27日には事前学習として人口減少の推移や町の現状などを学習。現状を踏まえた政策にはジビエの商品開発や電力を町で活用するなど高校生らしい提言が発表されました。

畠山七海さんは「町のことを深く考える機会になった。この考え方は今後も生かしたい」と充実感に満ちた表情を見せました。



課題解決に向けた政策を話し合う生徒たち

総合的な探究の時間

葛巻高校生考案 新くずまき鍋



総合的な探究の時間で、町の食材を活用した取り組みを進めている2年B組のチームが、新しくくずまき鍋を考案しました。

高校生が考案したのは、くずまき高原牛やくずまきワインを使用したビーフシチューベースのくずまき鍋。くずまき食のアンバサダーで料理研究家の小野寺恵さん（盛岡市）の協力も得て、7月には鍋をおいしく仕上げる調理法や素早く提供する手順などを教わりました。

その後も高校生は試行錯誤と調理の練習を繰り返し、町の魅力が詰まった新くずまき鍋を完成させました。

この鍋は、10月11日、12日に町民まつりと同時開催される「くずまき鍋&ご当地グルメフェア2025」でお披露目する予定です。皆さん、ぜひご賞味ください。



意見を出し合って調理を進める高校生たち

高校生考案のくずまき鍋（試作品）



私たちが作りました！
ぜひお召し上がり
ください！

第47回県U16陸上競技大会優勝 ジュニアオリンピック出場決定

葛巻高校陸上競技部の久世純寧さん（1年）が8月31日に北上総合運動公園陸上競技場で行われた第47回岩手県U16陸上競技大会で、1000メートルに出場し、15秒80の自己ベストタイムで優勝を飾りました。また、この結果を受け、10月17日から19日に三重県営総合競技場で開催されるジュニアオリンピックカップへの出場が決定しました。

普段は7種競技を主に練習し、大会に出場している純寧さん。「それぞれの競技に違った良さがあるので楽しい。中でも1000メートルが得意」と7

種競技の魅力を話します。

優勝したレースを振り返り「自分の走りをするのができた」と晴れやかな表情を見せながらも、ジュニアオリンピックに向けて「初めての全国大会で緊張すると思う。リラックスして臨み、自己ベストを更新したい」と話す眼差しは大舞台への決意を感じさせました。



久世純寧さん（1年）



考査に立ち向かう

葛巻高校では1年に4回の考査が行われます。そのうちの2回目が9月4日から9日の期間で行われました。

突然ですが、皆さんはテストが好きですか？私は苦手です。なぜなら先生方から指定される広い範囲と、終わりが見えないテスト勉強にいつもプレッシャーを感じるからです。そんな中、校内にはテストに向けて必死に勉強に取り組む生徒がたくさんいます。勉強を教える姿を見て、私も勉強を頑張ろうという気持ちになります。



勉強を教え合う生徒

高校生記者レポート

今月の担当 谷地 樺林（2年）

出身	山形中（久慈市）
所属	郷土芸能部、家庭クラブ委員
好きな食べ物	牛乳とアイスクリーム
一言	葛巻をより知ってもらえるよう一生懸命頑張ります！

また、学校に隣接する公営塾では、大学や専門学校に進学した卒業生の皆さんが夏季休暇を利用してインターンシップをしています。そして、講師として勉強を教えてください。先輩方は頼もしくて優しい先輩ばかりです。

私はこの恵まれた環境下で、勉強と部活動に全力で励む事ができて幸せです。そして、葛巻高校に入学して良かったと心から思っています。